

保育界の近状を見て

一四

文部省總務局調査課 多田鐵雄

大東亞戰爭が初まつてこゝに一年、この一年が幼児保育界

に與へた影響も又尠くない。國民學校令の制定と並んで、従来の保育を反省する機運が醸成されて來たのは事實であるが、中央の指導の積極性を缺いてゐたことも手傳つて、何か未だ食ひ足りないものが隨處で感じられたものである。然るに大東亞戰爭は中央の指導を俟つまでもなく、現實に各幼稚園を、各保育施設を、各保育者を、米英撃滅を期して戦ひ抜くための要請の前に直面させたのである。この劃期的な一年を通じて見、且感じたことを二三述べて見よう。

何き云つてもこの大東亞戰爭が與へてくれた一番有難いことは、國民としての自覺日本人としての自覺を今更に促されたことであつた。米英依存の夢の殘滓を棄て切れなかつた一部のものも、こゝに至つて決然と立直つた。基督教保育聯盟が従来の傳道第一主義の傾向を反省して「日本國民の保育」を目標の第一に据えたことも、當然のことは云

へ、従前に在つては敢行し切れぬ事柄であつたらう。

皇國民鍊成、ひらたく云へば幼児を將來皇國に生命を捧げ得る人物に保育する云ふ心構へを持たぬ保育者は一人も居ない。又平時と違つて戰爭時こそかゝる保育をするに惠まれた状態、環境を持ち得るのである。その意味に於て戰爭自體が保育に取つて實は極めて有難いことである。然しそれにも拘らず我々は未だ皇國民鍊成の基礎としての保育の現状に關して氣懸りなのである。前線の人々は生命を投げ出して戦つてゐるやうに、銃後も國を擧げて總力戰に參與してゐる云ふ。一人の國民も國を思はないものはない云ふ。がそれならば巷間傳へられる如き闇取引が存在するわけはなく、歡樂街の現在のやうな盛況が見られるわけはないのである。我々はいささか云ふ時には日本精神の本心に立返るにしても、未だく、全心全靈は忠誠と云つたやうな境地に及ばざるこゝ遠いのであるまいか。而も保育者の精神、心情が理屈なしにそのまゝ幼児の心に移り、幼

兒のものになつて行く事實を考へるべき、あまりにも高い要求であることは重々承知しつゝも、我々は保育者自身が誰よりも先づ眞正な皇國民たるべく日々思ひを新たに反省努力すべきことを要求せざるを得ないのである。數年前から神様のおはなしを初め古事記の話、楠正成の話等が大いに注目されて來てゐるが、問題は話の内容でなく、話す者自身の態度、心情である。時局に即した行事、談話等は何處でも適切に取扱つてゐるやうに見受けられるが、こゝで留意せねばならぬことは、戰爭の諸影響に依つて生ずる荒んだ風潮に對し、幼兒を保護指導するに云ふことである。

それは戰爭に對し、幼兒を保護指導するに云ふことでは萬々ない。某幼稚園で買物遊びをしてゐた。一人の保姆が仲間入をして「先生にも一つ下さいな」云つたところ、「まあ先生ですか、よくいらつしやつて下さいました。さうぞ裏の方へお廻り下さい。先生がお出でになるかと思つて賣らずに特別に隠して藏つて置きましたよ」答へた幼兒があつたこの事である。これは單に一例に過ぎぬが、このやうな戦時下生活の裏面でも云ふべきところに、即ち大人の一種の悪がはびこるところに幼兒に與へる悪影響として寒心すべきものが多々あるを考へられ、これが道義心の芽生へを荒ませることになるのである。農村に於ける買出し部隊の村民に與へる影響も見逃すことの出来ぬ一事である。儲け

ながら都人士に對し募らせてゐる反感は決して幼兒に取つて無關係ではない。かうした社會事象を保育者は十分に睨んで行かねばならぬと思はれる。

資材の不足、物資の不足は保育を一段と困難ならしめてゐるが、こゝではそれを工夫によつて凌いで行かねばならぬことが痛感された。その意味に於て某縣の保育會が廢物利用を保育研究題の一つに選んだことは適切なことであつたに云へる。某保育所の保姆がその給食の副食物が毎日、カブ、白菜、燒のりばかりになつて幼兒が飽きてしまつた時、昨日と今日はおかづが違ひますよ、昨日はカブ、白菜、燒のり、今日は白菜、燒のりさかづ、明日は今度は……云つた工合にして幼兒の興味をそこにそらせつゝ、樂しく喰べさせることが出來た經驗談は、ちよつとした機智すらがこれだけの効果を擧げ得るのださつく／＼知らされたことである。某地方の或幼稚園は廣い庭を持つてゐたが、保育室が足りないで年少組と年長組を一緒に保育し、出來るだけ戶外を利用するのことであつた。然しよく見れば幼兒三十人位は充分收容出來る部屋が職員室にして獨占されてゐる。大體、幼稚園の職員室は居ながらにして保育室をも庭をも見透せるのが理想ではあるまいか。して見ればその一番大きい保育室の一隅を木柵か何かで仕切り、これを職員室に宛てれば、年少組の保育室が出來るのでは

あるまいかを考へられた。

種々の不足、不便を工夫によつて凌いで行く一方、現在の保育者は、國家の幼兒を保育する重責を顧み、現在の不合理を排除すべく積極的に働き、同志協力して邁進すべき秋を考へられる。先般某縣の國民學校附屬幼稚園を見た時、その國民學校は縣下有數の優秀校で、特別教室を初め、耕作園等の施設が充分に整備し、修養室を二つも持ち、レントゲン室も在つて結核の早期發見に備へ、更に數學級の養護學級を編成して、その全員及び普通學級の内の弱質兒童に給食をさへ施行してゐたのである。そこで六組を持つ附屬幼稚園の方を見るに、遊び場は一部が耕作園に取り残つて居り、二百何人の幼兒は目白押に狭い庭に押込められてゐた。レントゲンによる診察は聞けば幼稚園の方では行はぬもの、給食は聞けば之も幼稚園の方へまでは手が届かぬもの、理由で行はれてゐないもの、こゝであつた。若し形式的な完備を誇るならば、先づ注目される國民學校を優先するのは當然であるが、眞に幼兒兒童の保健を考へてのこゝであれば、結核豫防處置、偏食矯正、榮養給食等がこゝで先づ手始められねばならぬかは之も衆知のこゝであつて、かゝる不合理に對しては保育者は飽くまで戦ふべきを考へるものである。又某縣では、何故に幼稚園は顧られず、託兒所のみが強力に支持されるのかを云ふ間に對して、

市町村議員の考へに左右されるからであり、彼等の考へは、幼稚園を後援し、之を幾つか設置したり、育成したりしても何等、彼等の功績にはならぬ、然るに社會事業の方に手を染めれば、數年も之を行へば、或は表彰され、或は功績者として稱へられ、爾後の選舉にも有利だから云ふ理由に過ぎぬもの、答へであつた。我々は名を追ふものに非ず、然し飽くまでも實を求めて行かねばならぬと思はれる。至誠以て石を動かすの熱意こそ、現下の保育者に望ましいところである。

戦時下國家總力を擧げて事に當る時、人手の不足化は當然であり、保育の持つ教育、保護の二機能の内、後者の要求される度合も増大して來た。それと共に保育時間の延長が問題となり、大阪市では率先して九月二十一日から保育時間の延長を實施してゐる。然しこれは我々が機會ある毎に繰返し述べてゐる通り、しかく機械的に、形式的に實施して濟むものではない。現に大阪市に於ても幼稚園分布の狀況からして、かゝる一律的處置が必ずしも當を得るないことの實證が次々示されて來てゐる。その反面、たゞ從來のいきたりをそのままに半日保育で事足りるに爲してゐる地方もあり、要は現實の事態を深く考察して土地に即した處置を取るべきであらう。

概して幼稚園が託兒所に化して活氣の乏しい地方が多い

のは、幼稚園がその周囲の社會を遊離してゐる場合とか、幼稚園が小さく自らの殻の中に閉籠つて自分の園だけでは少くとも一生懸命、且つよくやつてゐることを云ふだけで満足してゐる場合とか、多くその原因となつてゐることは思はれる。

保育法の研究について、或は講習會、或は研究會等によつて保育者が努力してゐることは喜ばしい。そしてその成果に見るべきものも多い。然し比較的參觀に云ふことが、時間に見まれない所爲でもあらう、少なすぎるやうに思はれる。保育は極めて實際的なものであつて、話だけ聞けば大層結構なことも、さて自らそれを實施して見るに色々な喰違ひが出来ても來、又その園にはさうもしつくり合はないと云ふ場合が往々出て來る。そして元來幼稚園はその環境、構成、幼兒の種類等が極めて多岐にわたるものであるから、常にその實際に即して考へ、取扱はねばならぬのであつて、その點から云つて參觀こそ、實に唯一の生きた手本であり、かく實際に即して眺めてこそ、初めてそれを如何に自分のところで採り入れたらよいかと云ふことがはつきりするのではないかと思はれる。我々はお互にもつともつと參觀の時間を持つやうに工夫し、努力すべきものも考へる。

東京市に於て公立幼稚園が東京市教育研究會幼稚園保育部の名の下に協同研究を進め、着々成績を擧げて行つて

ゐることは慶賀に堪へない。元來、全國の保育界は結束を緊密にして互に長短を補ひ合ひ、且つ社會に對して保育事業の重要性の認識を深めさせるべく活動せねばならぬはずのものであるが、首都たる東京の保育界が残念ながら纏りがわるかつた爲に未だ全國的統一に至らないでゐるものである。東京市の公立幼稚園を實際に管理指導する國民學校長の内にも、從來は往々にして保育に對する認識の不足の人々が存在してゐたやうに見受けられたのであつたが、この都會の成長はこの方面に於ても審與する處尠くなかつたのではあるまいか。

かゝる情勢を呼應するが如く東京府學務關係官を會長、副會長に戴いて、この九月に東京府私立幼稚園協會が創設され、管内の私立幼稚園の殆んゞ凡てを會員に獲得した。仄聞するに本協會では事業の手始めとして、園長、保姆の鍊成講習を行ふ豫定のことであるが、我々をして云はしむれば、この協會が私立幼稚園の團體のみで留まる限り、その存在理由はさしたることはない。本協會が更に發展して公私立凡ての團體となり、更に之が全國的統一體の一單位となつてこそ初めて眞に我が國保育界に貢獻し得る存在となるものであらう。本協會の目標も右の點にありと聞る。幸ひに一日も實現の日の近からんことを祈るものであ